

刊夕日二十月六



定価 一部全一ヶ月五拾五銭 郵費五拾五銭  
廣告部 電話 七二二番 行金五拾五銭  
日曜 祭日の翌日 休刊  
編集 編輯部 平町 電話 六二〇番  
印刷 印刷部 平町 電話 六二〇番  
社 社務部 平町 電話 六二〇番

### 人生行路難の打解と孝道の作興

麻生 正 蔵

(九)

併し親を愛すると言ふ事は、必ずしも親の要求や命令が假令道に離れて居ても、絶対服従をすべき事ではない。それは寧ろ親をして不善不義不仁を行はしむるものである。凡て人間は相対的なものであつて、不完全なものである。不完全なものには、缺陷もあり、落度もあり、過失もあり、不善をも行ふものである。傑聖パウロの如き『もわれ願ふ所の善は之を行はず、反て願はざる所の惡は之を行へり……噫、われ固苦める人なる哉』と痛嘆自責したのである。大聖孔子でさへも『學の講せざる、道の修らざる。義を聞いて徒る能はず。不善改むる能はず。之れ吾憂なり』と仰せられたのである。斯様に聖徒や大聖でさへも、自分の善を行ふ力の如何に薄弱であるかを自覺せられて居らるゝのである。ましてや私共凡人に於ては、幾多精神上の弱點や缺陷を持つて居るのである。而して親も亦人間である以上、色々精神上の弱點を有し、様々の缺陷に陥る事も、亦止むを得

ない所である。さらばとて親の過失や落度を見て、一々尤め立てたり、輕悔の念を起したりするが如きは決して親孝行の道でないのは無論、却つて親子間の愛情を不純ならしめ、疎隔せしめ、親をして益々不善に流れしむるに過ぎないのである。唯々子たるものは、親の性癖に由来する弱點缺陷に同情しながら、その弱點缺陷を放任的に見逃すことなく、而かも裁き尤むることなく、只管親の天の心を心として、本然の善性を完ふする様に、温い心をもつて、誠心誠意祈り求めつゝ、孝道に精進すべきである。かうして親に仕へて、初めて孝道が完ふせらるゝに近いのである。

併しそれで決して孝道が完ふせらるゝのではない。親としての最上の法悦、最も眼の周囲をやゝ濃いめに白粉をつける、すると眼が幾分浮出した感じとなる。

### ノート

凹眼の婦人は他の部分より

大の満足は、その子が聰明なる見識を具へ、有爲の手腕を鍛へ、明るい、温い、高く、廣く、彈力に富んだ美しい、清い性格を養ひ

世の爲め、國の爲め、君の爲め、人の爲めに役立つ人間となることである以上、最善の親孝行は自分がさう言ふ見識、さう言ふ手腕、さう言ふ性格の持主となることである。

【書】ごまあへーさやえん どう 京菜  
【朝】すまし汁ーからあさり  
【晚】鹽やきー鮮魚

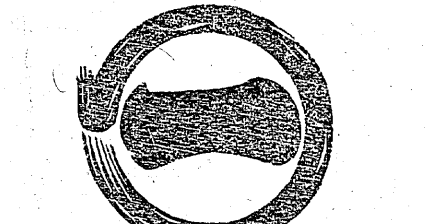
由是觀之、孝道の眞髓は天の心をもつて心として、親に仕へ、己れを修め、人に接し、團體に盡す點に存するとの概言することが出来るのである。而して親の親たる所以の本質は、子に對する純眞の愛であると同様に、子の子たる所以の本質は親に對する純眞の愛である。此の純眞の愛を親に捧げて行くのが子の親孝行である。それで孝行と言ふものは、決して一種特別無類の道ではないのである。純眞の愛を捧げ合つて生きるのが、人間の常住不斷守るべき道であり、理想である。此の道を親に對して守つた時が即ち孝である。此の道を兄弟に對して守つた時が悌である。此の道を夫婦相

互に守つた時が即ち夫婦道である。此の道を入々相互に守つた時が即ち人道である。此の道を君に對して守つた時が即ち忠である。家族國家である我皇國に於ては、天皇は最大至上の父であるから、義は君臣であつても、情は父子である、宣まはせられたのである。それで我皇國に於ては最大至上の孝は即ち忠である。其處に忠孝一本の意義が存するのである。忠孝一本であれば、忠ならんと欲すれば孝ならず、孝ならんと欲すれば忠ならずと言ふが如き矛盾衝突は忠孝の間には存しないのである。本當に忠なれば必ず孝である。本當の孝であれば必ず忠と一致するのである。

出世の金なれば是以告たるし【九紫】不平を起して輔職轉業の念あるも今暫し理狀維持なさい【株と米の高底は特別に致しますから御來所を乞ふ】

市原醫院  
平町 田町  
電話 二二四番

# 新 出賣節鯉



## 魚問屋

店理代平命生本日大最優最  
榮 盛 賀 志  
(三一電) 目丁四平

氷水の時節となりました  
見るからに涼しそうな氷水屋になくはならない  
のれん  
三尺巾一枚  
二十錢より各種  
是非御用意下さい  
平町四丁目  
スガノヤ提灯店  
電話 九五番

コリン 鹽豚  
ボーグ 肉蒲鉾  
田町 三三三屋

### 玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話 三〇七番

科人婦。科外  
院醫坂井  
町田町平  
番九五五話電

# 右から左へ

## つゝぬけの繭代金

繭價高は養蠶家を喜ばせてゐるがこの蘇生したやうな歡喜も、肥料代の償還、日用品の購入、滞つてゐた税金の納めといふやうに片つけて行く小養蠶家は一時喜びで餘り残る處がないらしい、町村役場にしても縣の財務出張所にしても、滞納整理に手を焼いてゐた折柄だからこの機会を逸するやうな事をしない

し、銀行は銀行で決算直前であるからこれも猶豫はしない、更に養蠶家の景氣が素晴らしいといふのでいろ／＼なインチキ商人までが入込んで怪しげな品物を賣りつけやうとするなど、折角纏まつて這入つた繭代金が、またたく間にムシリ取られる状況にあると

### 苗代と二毛作

#### 平町の品評會

##### 近く賞品授與式

平町農會では豫てより本年度苗代及び二毛作品評會を開き郡農會青山技師が審査の結果入賞者左の如く決定近く賞品の授與式を行ふと

△苗代(一等)鈴木良平  
高野清一(二等)吉田庄次郎  
菜花新松(三等)鈴木キ  
猪狩喜惣平以下五名(四等)鈴木盛彌以下五名

△紫雲英(一等)大野倉七  
(二等)鈴木惣五郎(三等)鈴木榮(四等)國井定吉  
△大麥(二等)高島亥之吉  
(三等)鈴木留吉(四等)吉村富吉以下三名

#### 公民科研究

##### 警中に開く

警中、双中、相中三校の公民科研究會は来る二十四日午前十時より警中會議室に於て開かれるが各校より提出された協議題及び談話題は左の如くである

△協議題  
公民科に於て思想善導に關し特に留意すべき點如何(相中)  
他教科(特に修身科、

練科)との連絡を如何にすべきか(双中)  
公民科に於て實際問題乃至時事問題を如何に取ふべきか(警中)

#### 郡下教員總集會

##### 改正讀本取扱方の講演

既報石城郡下小學校教員總集會は来る二十五日午前八時より平第一小學校に於て水野縣視學臨席の下に開催されるが當日のプログラムは

開會の辭(會我第一校長)  
國歌合唱 詔書奉讀(會我第一校長) 會務の報告  
(同人)宣言 全國聯合教員會狀況報告(元内郷第三校長仲村辰四郎)にて終つて會員の意見發表として『自然を通しての人類教育の一面觀』平第一大谷徹君『時局の認識と地理教育』大浦校高橋正君等あり續いて文務省圖書監修官佐野保太郎氏の『改正讀本の編纂方針と其の取扱ひ法に就いて』の講演がある

#### 濟生會事務

##### 社會課移管陳情

##### 共濟會から

石城郡共濟委員聯合會では縣衛生課に屬する濟生會事務を縣社會課に屬する様變更ありたしと左記陳情書を昨廿日付を以つて縣に提出した

恩賜財團濟生會の事務は本縣に於ては衛生課の主管に有之候處之等窮民の家庭に接觸し調査指導の實務に當る者は共濟委員にして連絡上不便不尠候間本事務は共濟委員を統轄する社會課に移管せられ之が施療救濟の徹底を期し天恩慈雨の如く遍滿する様御高配賜り度く石城郡共濟委員聯合會の決議により陳情候也

#### 平町測量

##### 長岡氏外八名

陸地測量部長岡英氏外八名は今月下旬平町内を測量する

#### 平商の職員チーム

##### 自重して練習

平商業學校職員野球チームにては郡下各學校教員野球大會の期日切迫したので練習を開始したがメンバーは左の如く今年第一回の出場とて皆自重してゐる

原澤川村田野澤田田下  
菅宮武木泉矢大新山  
投捕一三遊左中右

#### 繭市況 (廿一日)

▽四倉繭市場  
【白繭】二千二百貫(最高)六圓四十一錢(最低)五圓二十二錢(馴)六圓五錢(掛目)五十【黃繭】七百貫(最高)六圓十三錢(最低)五圓十八錢(馴)五圓九十二錢(掛目)五十

▽植田繭市場  
【白繭】一千貫(最高)六圓二十錢(最低)五圓五十錢(馴)五圓九十五錢(掛目)五十【黃繭】千八百貫(最高)六圓四十錢(最低)五圓五十錢(馴)六圓五錢(掛目)五十

#### 常設館たより

◇平、館、松竹時代劇 阪東好太郎、飯塚敏子主演  
「仁俠やくざ道」 日活時劇 大谷日出夫、花井蘭子主演「萬太郎暴風雨」

松竹現代劇 蒲田樂劇部  
總動員「戀の東京」

#### 平町人事

△世界館、新興現代劇 松本泰輔、歌川八重子主演  
「魔笛」 新興現代劇草間實、徳川良子主演「勇敢な喇叭手」 新興現代劇尾上菊太郎、浦築枝主演「十六夜蜘蛛」

△紺屋町三三 當時白河町郭内一〇〇 千太郎姉澄川ミツ(六二)

△二丁目三 當時仙臺市南鍛冶町一九四 勝之助母石川タマ(七七)

#### 醫

診療科目  
○内臓外科 ○整形外科  
○脳外科 ○皮膚科  
○婦人外科 ○性病科  
○一般外科

### 諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋 鐵彌  
平町新川町廿七(電話四六四)

#### 開

入院室 完備  
手術室 完備

#### 業

### 外科 X光線科

性病科 外科 入院隨意

平町田町

### 安齊外科醫院

電話四七五番

肉 鹽 豚 蒲 鉾

田町 三三三三屋

### 祈願旗奉納

#### 參拜自動車來る

三三三型新シボレーが快走

#### 福島民報社の主催

同業福島民報社では来る二十六、七の両日三三三型新シボレーを使用し縣下自動車早廻り競走の名の下に紅白二班に分れ國威宣揚祈願旗奉納の神社參拜を行ふが平町へは来る二十六日午後六時頃到着一泊の上翌日午前七時縣社小鐵神社及び飯野八幡神社を參拜歸路に着く豫定である爲め平町各關

### 種初給與

平窪罹災村に

昨年十一月の災害に最も被害を蒙つた平窪村罹災者十二名に對して本縣から種初を五百十七畝を無料給與する事になつた

### 珠玉の櫻桃

#### 栽培至難でない

試作は本場もの以上の美味

石城郡神谷農事試験分場では郡下に於いては栽培困難とされて居る櫻桃及び櫻玉の試作を數年前より行つて居た處最近漸く試作樹甘株に五百餘貫の見事な結實を得たので所員が早速試食して見る本場の伊達、山形産を凌ぐ美味である爲め早速郡下果樹組合に栽培奨励を行ふ事になつたが郡下の風土關係よりして栽培には櫻樹を厳選する事、窒素肥料を減じ斷根を行ふ等を勵行すれば郡下に於いても栽培は有望であると

### 子供の喧嘩が

#### 親達に感染

石城郡飯野村字谷川瀬農山野邊義行(○)は去る廿日午後八時頃自宅で酒飲中次男の要(○)が隣家の坂本ノブ長男政界(○)に毆られたと泣き込んだので憤慨し子供の喧嘩を買つて隣家の坂本方に暴れ込みノブを毆打して顔面に全治二週間の打撲傷を負はしたので平署に訴

### 工藝指導募集

仙臺市二十人町の商工省工藝指導所では本年度傳習生二十名を募集するが志望者は十七才以上四十以下の木工金屬業者の徒弟及び従業者中の成績優良なる者で詳細は平町役場に問合されたい

### 華道の修得證を

#### 授與される會員

女青總會の順序

既報明日午後一時より平館に催される平女子青年團總會の順序は、開會の辭、國歌合唱、宮城遙拜、令旨奉讀、團長挨拶、會議、華道修得證授與式、團員の意見發表、石山博士の講演、餘興であるが華道修得證を授與される會員左の如くである

### 正木磐女校長は

#### 今月末頃登校か

其後の経過頗る順調

既報去る四月朝鮮京城帝大に於て開かれた全國女學校長會に出席の際金剛山に登山し誤つて怪俄をした磐女校長正木貞二郎は其後引續き自宅に於て渡邊整骨院の手に依り治療中であつたが経過頗る良く今月末頃より登校されると

### 平第二の學力

平第二小學校にては来る七月二

### 平農倉の共米

平農倉倉庫の共同販賣は昨廿一

明日のラジオ

廿三日

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
お話面白い印の作り方  
北川福亭

後七、三〇 講演「化學變化の速力」東北帝國大學

教授理學博士 箕作新六  
後八、〇〇 漫談 悟道軒  
圓玉

後八、四〇 吹き寄せ  
柳亭春樂

後八、二〇 小唄「待ちわびて」外唄堀小三喜三

今晚も明日も北東の風晴曇半す

味線 堀小三久外  
後九、〇〇 長唄「教草吉原雀」唄 柗屋勝若外  
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

前六、三〇 基礎英語講座 (三十三)岡倉由三郎  
前九、一〇 料理献立「トマトのシチュウ」小野やす子

前一〇、三〇 家庭講座  
後〇、〇五 オールガン獨奏  
後二、〇〇 家庭大學講座 東大教授田邊忠男  
後六、〇〇 子供の時間 獨唱 吉澤園子 ピアノ 伴奏平岡次郎  
後六、三五 趣味講演  
後七、三〇 偉人を語る夕  
後九、〇〇 講演 第一席 西尾鱗慶

### 平第二校の生徒達

今年目は新しいのを上演

平第二小學校にて毎年保護者を招待し夏の一夜を樂しむ爲め催される「舞踊の夕べ」は今年も来月二十七日午後七時より同校講堂に於て催されるが今年の特目新しいものを上演すると

### 裁判所だより

▽石城郡高久村大字下高久字前ノ内百二十七番地前科三犯農鈴木房吉(○)に對する私文書偽造行使公正證書原本不實記載行使事件の公判は本日午前九時より平區裁判所に於て中島判事係り三堀検事立會山野邊辯護士列席の下に開廷され事實問の上檢事より懲役六ヶ月

### 夏の夜の踊る

平第二小學校にて毎年保護者を招待し夏の一夜を樂しむ爲め催される「舞踊の夕べ」は今年も来月二十七日午後七時より同校講堂に於て催されるが今年の特目新しいものを上演すると

### 平職業紹介所報告

求人を求める方  
△外交員 二十五才 高卒 月十圓(平町某)  
△女中 四十迄 高卒 月五圓位(平町某)  
△豆腐賣子 三十才 尋卒 賣上の二割給(平町某)  
△店員 十七才 尋卒 給料面談(平町某)  
△回職を求める方  
△雜夫 五十八才 高卒

## 三井タクシ

番五八六話電 目丁二町平

### 木村外科醫院

平町五丁目橋際 電話九〇三番

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第三百七十一席 近藤勇の最期

大久保大和見破るる内「イヤ是は近藤だ、大久保大和と偽名を致し居るか恐ろしい奴だ」と香川に此の事を告げた

香「それでは大久保は近藤であつたか」内「左様でございます、勇に相違ございません」香「然らば搦めとれ」と其の手配りをした、とは知らず大久保大和それに控えて居ると番兵が出て参つて

番「今日は御苦勞に存じます、何卒これへお通り下さいまし、御案内仕る」大「然らば香川殿の御許までお伴れ下さる様に」と馬を繋ぎ一刀を掲げて幕をかゝけて四五間参つた時に、躍り出した十四五人もの物をも云はず左右から組付いた

大「こわ無禮なり」と云ひながら大和は左の手にて其の奴等を引ッ掴んで投げ飛ばした、尙も官軍の兵士が組み付いて来るを大「卑怯なり、此奴等武士たる者を欺いて捕へんとなすは不埒なり」と投げつけたが、ま

近

藤は右の手に負傷いたし居ることゝ、左の手ばかり働かしてゐる、此の右の手の傷を負ふたにはちよつとお話することがある、京都に居た頃ですが、市中見

ろと追ひかけたが夕方のこととで殊には小雨が降つて道が暗いから見失ひました、近藤は立ち騒ぐ人々を制して



大筆

廻りの爲に部下の者を伴れて馬上にて壬生の屯所を出て三條の大橋までかゝるとズドンと響き渡つた銃聲と共に飛び來つた弾丸が右の腕へ中つた、部下の者は驚いてそれ曲者を取り押へ

つて人を斬つた、私の知人で新撰者にゐた者の話に依ると、近藤が馬に乗つて兵を率ゐて敵に斬り込む其の勢ひは人間とは思へない、元龜天正時代の豪傑の戦場の働きはこゝろ有様であつ

たかと思はれたと度々云ひましたが、強いに相違ないしかし官軍は大勢にて近藤を引き包んでさそいからるそれが爲に遂に捕へられたが、近藤の大久保はハツタと怒り

事の今日に貴公程の者を首に致すは残念、依つて官軍に降伏なし天下の爲めに盡くされるとあらば一命助けるであらう」近藤これを知るとハツタと怒り

大「何んで繩をかけた、一言のことはりもなく多くの兵士を伏せ置いて繩を打つとは卓法至極是が官軍のすることか恥を知れ」と申しした時に香川敬三が香「貴様は新撰組の近藤勇であらう」大「何んだ拙者を近藤勇だと……それは人違ひである、俺は大久保大和と申す者だ」香「偽りを申すな是に就いては證人があるぞ」大「何の様な證人が居る其奴を是へ呼べ」香「加納はへ參れよ」と呼ばれて出て來た内匠内「近藤殿久々に御面會いたす」と云はれて

近「お、犬は汝か、貴様が茲に居るとは思はなんだ、香川殿に申す、此の加納と申す者は拙者の部下であつたが權勢と金錢を得る爲めに同志を賣つた犬侍、かゝる心の汚れた者を官軍は問牒につかはれるとは……イヤ最早何も申すところは、此の首がほしいこと、思ふ、速に斬れ」左の手を擧げて首を叩いた、其時香川敬三が香「貴公の勇武なることは豫て聞き及び居る、國家多

貨切の●●●  
御用命は!!!  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
眞先ニ……………(マツサキ)  
三九二タクシーへ!!!

内小科 科兒科 科病柳花  
院醫沼藤  
平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町(電話五九七番)

旭硝子株式會社製品  
板ガラス  
硝子食器  
松崎硝子製作所  
中村齒科醫院  
平町鍛冶町七

お醤油は……ヤマフル  
醬油味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品  
山崎合名會社  
福島縣平町(電話營業部二釀造工場七)  
明治生命磐城代理店 山崎與三郎